

生活保護申請5.2%増

昨年10月分 コロナ・物価高騰影響

厚生労働省は4日、生活保護の昨年10月分の申請件数が前年同月比5.2%増の1万9700件（速報値）だったと発表しました。前年同月比で申請件数が増えるのは6カ月連続。同省の担当者は「新型コロナウイルスや物価高騰といった経済情勢の影響が考えられる」と説明しています。

全受給世帯数は164万4381世帯で、前年同月比0.2%増。一時的な保護停止を除いた内訳は、高齢者世帯が55.5%を占めます。失業者を含む「その他の世帯」は15.5%。